

事務事業名		障がい児相談支援給付事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	1 相談体制の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	5926	一般	3	1	2	障がい児相談支援給付事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成24年度～年度		根拠法令 条例等	児童福祉法		実施方法		全面委託	
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		事業分類		その他直接サービス提供事業		
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
障がい児通所(児童発達支援、医療型児童発達、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援)を必要とする障がい児に対して、申請を受けて、障がい児相談支援給付費の支給決定を行い、指定特定相談支援事業所が利用計画を策定する。 事業所からの請求が国民健康保険団体連合会の審査を経て請求があり、その審査内容の点検、支払いとなる。 利用者の状況によっては、相談支援事業所とも連携しながら相談支援やケース会議を開催する。			事業概要のとおり。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			障がい児相談支援給付決定人数	人	123	222	200	210	220	
			障がい児相談支援給付利用延べ回数	回	326	371	450	460	470	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
障がい児通所(児童発達支援、医療型児童発達、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援)を必要とする障がい児に対して、申請を受けて、障がい児相談支援給付費の支給決定を行い、指定特定相談支援事業所が利用計画を策定している。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			障がい児通所給付申請者	人	189	222	200	210	220	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
障がい児が、家庭や地域等で安心、自立した生活を送ることができる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			相談支援件数/相談を必要とする件数	%	65	100	100	100	100	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
安心して生活できる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			サービス利用計画書等作成済人数	人	486	882	880	900	920	
			相談支援(指定特定含む)事業所数	所	3	6	4	5	6	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)		
				項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
事業費の内訳	千円	国庫支出金	千円	2,295	3,292	4,039	4,340	4,644						
		県支出金	千円	1,147	1,646	2,019	2,170	2,322						
		地方債	千円											
		その他	千円											
		一般財源	千円	1,126	1,618	2,020	2,170	2,322						
		事業費計(A)	千円	4,568	6,556	8,078	8,680	9,288						
人件費	人	正規職員従事人数	人		1	1	1	1						
		のべ業務時間	時間		5	5	5	5						
人件費	千円	0	20	20	20	20								
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,568	6,576	8,098	8,700	9,308								

事務事業名	障がい児相談支援給付事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	--------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	この事業は、サービス利用計画策定事業としてこれまで障害者自立支援法で実施されていたが、平成24年4月に児童に関する部分は根拠法令化が児童福祉法に一元化され、障がい児のサービス利用計画を策定する事業としてこの事業が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成24年4月に根拠法令が児童福祉法に一元化され、新規で開始された事業のため、変化はない。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 障がい児通所のために、障がい児相談支援事業を利用して利用計画を策定することで、家庭や地域等で安心、自立した生活を送ることは、社会との接点を持つことになるものであり、市の政策体系に結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	結びついている	理由・改善案 児童福祉法で、市町村が行うものと定められている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 児童福祉法で、対象や意図が定められて居り、必要がない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 個々の事務の進め方が規定されており、改めることはできない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 障がい者のサービス利用計画作成事業である。法律で障がい児と障がい者のサービス利用計画作成が分かれているため、統合はできない。
	*類似事務事業があれば、名称を記入	類似事務事業名	計画相談支援給付事業
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 個々の事務の進め方が規定されており、事業費や人件費の削減はできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案 法律で受益者負担を求めないことになっている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
児童福祉法でサービスを利用する障がい児について、サービス利用計画を策定することになっている。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			